

わけもん きぼっちょっど

未来に届け 第13回

問 あんよね今回は、高鍋高校のボート部を紹介するっちゃん…ボート部自体がめずらしたね！何がスゲ〜と？

答 何がスゲ〜かと言うと、昨年からよコロナ禍の中で、自宅待機とかよね、大変じゃわ…そんな中で将来を見つめてよね、あまり知られていないボートの魅力を多くの子ども達に発信しようと、今を頑張っちょるボート部を紹介するね！このボート部スゲ〜よ！

高鍋高等学校 ボート部

選手の一言 中学校まで柔道をやってきて、高校では新しいスポーツに挑戦しようと考えボート部に入部しました。新型コロナウイルス流行により臨時休校・自宅待機の中、チームで励まし合い、昨年の9月に行われた、インターハイ代替試合である「全国特別ボート選手権大会」で

6位入賞する事が出来ました。大学進学後もボート競技を継続し、宮崎の多くの子ども達にボート競技の魅力を教えられるような教師になるためにこれからも頑張ります。また、教師を目指す過程で必ず大学で日本一になりこの自粛期間で支え合った仲間や自分の努力が無駄ではなかったと証明したいと思います。



高鍋高等学校 ボート部



男子ダブルスカル第6位
左 塩谷龍ノ介さん
右 友章 海太さん



全国大会写真

ボート部監督 柴田 友輔

高鍋高校ボート部は創部9年目となりました。ボート競技は水上を進むスピードを競う競技で、高校スポーツとしては県内に高鍋と妻高校があります。練習場所は新富町富田浜でおこなっており、高鍋高校横を流れる小丸川でいつか練習出来ればと思っています。練習は日々全国に挑戦する姿勢で選手と共に切磋琢磨しています。今年度はコロナ禍の影響で各種大会が中止になる中で行われたインターハイ代替試合で、2人乗り種目の男子ダブルスカルで6位に入賞した事が、選手・チームの強さと成長を実感しました。2027年に国民スポーツ大会(国民体育大会)が本県で開催されます。地元開催に向けての強化・将来の指導者や選手・スタッフ育成など、ボート競技を通じて引き続き頑張っていきます。

編集後記

終息の見えないコロナ禍の中、いつもとは様子の違う、令和3年の新しい年を迎えています。

今号の議会広報から、編集委員会メンバーに変更がありましたが、コロナ対策に細心の注意を払いつつ、無事に編集作業を終えることができました。

今後、広報誌は公平で読み易く、誤解を与えず解り易いものであるべきとの思いを持って、紙面づくりに取り組みます。多くの方にお読みいただき議会への関心を深めて頂く一助になれば幸いです。

(田中義基・記)

議会広報編集特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 田中 義基 |
| 副委員長 | 八代 輝幸 |
| 委員 | 永友 良和 |
| 委員 | 古川 誠 |
| 委員 | 日高 正則 |
| 委員 | 杉尾 浩一 |



(表紙写真) 令和3年初日の出(提供:観光協会)